

第29回全国川サミット in 一関 共同宣言

北上川は、岩手県の岩手町御堂にある「ゆはずの泉」を源泉として、岩手県中央部を北から南に縦貫し、宮城県の石巻市から太平洋に注ぐ、長さ249km、流域面積1万150km²の東北地方最大の河川です。

「第29回全国川サミット in 一関」は、東北地方のほぼ中央「中東北の拠点都市一関市」を会場に、「黄金花くがね咲く北上川 ～悠久の歴史と未来～」をテーマに開催します。

古より親しまれてきた「北上川」は、今もなお人々に安らぎを与えており、その流域の広さから江戸時代は舟運の大動脈として、また豊富な水量は灌漑用水として北上盆地や仙北平野を潤し、人々の生活を支え続け、世界遺産平泉を始めとした文化歴史の発展に大きく寄与してきました。

今も昔も恵みをもたらし続ける川の大切さを再認識するとともに、次世代に向けてより良い川との共生を図っていくことを誓い、ここに宣言します。

- わたしたちは、先人が築いた、恵みをもたらす川の歴史や文化を守り、次世代へ引き継いでいきます。
- わたしたちは、災害から命や大切なものを守るため、防災への意識を高め、災害に強いまちづくりに取り組みます。
- わたしたちは、川とのふれあいを通して、ひとりひとりが川に興味を持ち、大切に守ることで、川を愛する豊かな心を育みます。
- わたしたちは、川と共存した美しいまちなみと、多種多様な生き物が生息する豊かな自然環境の保全に努めます。
- わたしたちは、人と人とのつながりを大切にし、自治体の境を越えて、川に関わる人々の交流の輪を広げます。

令和2年10月17日

第29回全国川サミット in 一関 参加者一同